

令和2年度 丹後地域保健医療協議会(丹後地域医療構想調整会議)
概 要

(1) 医療法の改正について

保健医療計画の中間見直しについて

<医療課説明>

(2) 保健医療計画における丹後の状況について

- ・ 医師会の最近の取組として、「考えてみてください人生会議とわたしの思い」というリーフレットを作成した。これは、終末期医療における延命治療など患者の意思表示のためのツールとして作成したもの。
一般の診療、主に終末期の医療について患者と話し合うようなそういう機会になればなど思っている。

(3) 丹後管内の新型コロナウイルス感染状況について

<丹後管内の新型コロナウイルス感染状況・保健課長説明>

<コロナ禍における通常業務の実施状況及び課題について(概要)・企画調整課長説明>

- ・ 緊急事態宣言が解除になった。これから第4波が来るか来ないかというのが非常に大きな問題。
- ・ ガウンテクニックの脱ぎ方が一番重要。当院では、お互いにやりながら、必ずその様子を見る人をきちんと作ってチェックをしながらやるのが一番重要になると思う。場合によっては第三者がその様子をビデオで撮っておいて、もう一回自分で見ると、この辺が悪いということがわかると思う。
- ・ 下り患者についての協力ということが、我々の一番重要なポイントになると思う。当院は、透析がメインなので、透析患者に対するコロナへの警戒はすごく厳重にやってきた。透析室内には絶対コロナを持ち込ませないという基本的原則でやっている。いろんなところで患者が増えた時に、管内医療機関のキャパシティを増やすために、下り患者を出来るだけとるということで、部屋を用意した。協力させていただければと思う。
- ・ 下り搬送の問題は、基本的に新型コロナの隔離期間は終わっている。保険診療上はコロナ患者ではない。ちょっとグレーだが、本来ならば普通の保険診療になる。
- ・ 京都府においても、第4波に向けて下り搬送というのは非常に大事だという認識をもっている。今現在コロナの入院患者をいかに効率的、効果的に引き受けていただけるのか。

そのためにはやはりコロナ、被コロナになった方、解除にはなっているんだけど自宅にすぐに帰れないとか、要介護のレベルがちょっと上がったとか、他の疾患で治療しないといけないとか。そういった方たちを受け入れていただける医療機関を第4波に向けて増す必要から調査をさせていただいた。

- ・ 12月の終わりには京丹後市だけで1日に18人発症があった。年末年始に丹後保健所のみなさんには、ほんとうに全所一丸となって対応をしていただいたことに関して本当にありがとうございました。

(4) その他

- ・ 宮津市では、庁内健康福祉部を中心に4つの班を作り、横断チームとして準備を進めているところ。接種に関しては、与謝医師会の開業医の先生方非常に協力をしていただき、個別接種の協力を得た。
- ・ 京丹後市では、2月1日付けで副市長を本部長とする京丹後市新型コロナワクチン接種本部を設置し現在準備を進めている。個別接種は、主として丹後中央病院、丹後ふるさと病院、市立弥栄病院、市立久美浜病院の4病院を基幹的接種機関として、平日に実施をする予定。その他現在複数の診療所や、開業医院等と協力について調整中。集団接種については、峰山の総合福祉センターのコミュニティホールの1カ所で実施予定。
- ・ 伊根町は、ワクチンの接種推進チームを2月上旬に立ち上げ準備している。接種方法は、集団接種をメインとして役場横のほっと館で、3密をさけて実施したいと考えている。
- ・ 与謝野町では、1月の末コロナワクチン接種プロジェクトチームを設置し、現在準備を進めているところ。また、1月下旬から与謝医師会と協議調整し、ほとんどの医師に協力をいただける状況。接種方法は、宮津市と足並みをそろえていくということもあり、基本的にはかかりつけ医がいる住民はかかりつけ医で個別接種をする。かかりつけ医がない場合、また集団接種を希望される場合は、集団接種となる。
- ・ 薬剤師会では、京丹後市とは、事前問診で適切な医療情報を正確に提供して、相談したい人はそこで受けることで、接種のときに医師のところで滞留するのを防ぐほうがいいのではないかと議論をしている。あとは、今現在薬局での相談件数がものすごく多い。
- ・ 訪問看護協議会でも、感染対策の周知が必要ということで、感染対策委員が立ち上がりスマホでも見れるプレゼンを作った。訪問の対策や、訪問診療時のガウンの脱ぎ方などスマホで共有している。時差出勤で、できるだけ感染リスク減らすようにしているステーションがある。訪問看護は、すごく陽性者の所でも行くという覚悟がある。(以上)